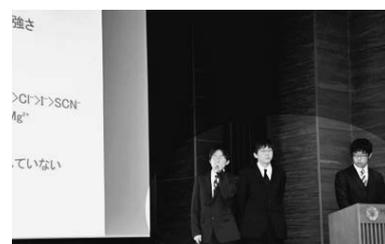


Chemical Bonds 支部／教育・普及部門だより

北海道支部発

2019 化学グランプリ支部長賞・奨励賞授賞式

2019 年度化学グランプリ北海道支部長賞および日本化学会北海道支部奨励賞（高校生の部）授賞式・受賞講演を2020年1月28日に北海道大学学術交流会館大講堂において開催しました。昨年7月に行われた北海道地区の化学グランプリ一次選考には、札幌、旭川、室蘭、北見、函館、釧路の6会場で合わせて104名が参加し、上位2名は二次選考に進みました。化学グランプリ支部長賞は、二次選考進出者を除いた優秀な成績を修めた者に贈られます。今年は、高橋慶多君（立命館慶祥高等学校2年）、重清雄大君（北海道旭川東高等学校3年）、高橋嶺斗君（北嶺高等学校2年）、澤田健太君（同校2年）、岸田倅典君（同校3年）が受賞しました。



さらに、支部奨励賞（高校生の部）は、北海道高等学校文化連盟理科研究発表大会に参加する部活動のうち本賞に応募したものから選考されます。旭川東高等学校化学部（5年連続受賞）「親水コロイドの塩析」と、札幌西高等学校化学部（3年連続受賞）「キトサンに関する基礎研究 第3報—金属吸着キトサンビーズによる色素吸着制御—」が受賞しました。授賞式及び講演の進行は支部化学教育協議会議長の筆者が務め、福岡 淳支部長（北海道大学触媒科学研究所）から両賞の受賞者・化学部に賞状及び副賞あるいは奨励金が渡されました。化学部による受賞講演が行われ、整理された内容とこなれた発表に対して、会場から盛んに拍手が送られました。

（蠣崎悌司 北海道教育大学札幌校教授）